

第【3】学年教科【美術】

1 学習目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 使用教科書・教材

日本文教出版

3 学習内容および学習時期の目安

| | 単元名 | 学習内容（教科書項目名） |
|-------------|------------|--------------|
| 1 学期（4～7月） | わたし 鑑賞 | 自画像 鑑賞 |
| 2 学期（8～12月） | 篆刻 鑑賞 | 篆刻 鑑賞 |
| 3 学期（1～3月） | 和菓子 水墨画 鑑賞 | 粘土彫塑 水墨画 鑑賞 |

4 評価規準およびその方法

| | 評価規準 | 評価項目・方法 |
|---------------|--|---------------------|
| 知識・技能 | 顔や体のバランスを正しく描くことができる。 彫刻刀の特徴を理解し、正しく使うことができる。 彫り方を理解し、彫刻刀を使い分けることができる。 墨の特徴を理解している。 粘土の特徴を理解している。 | 作品 テスト ワークシート |
| 思考・判断・表現 | 色の組み合わせや効果を使って配色することができる。 自分を表す構図やポーズを考え、表現することができる。 使いやすさを考えた持ち手を考えることができる。 五感を感じさせる和菓子を考案することができる。 墨の濃淡やにじみを活かした作品を制作している。 作品の良い点や改善が必要な点を感じ取り、的確に表現できる。 制作の手順を考えながら見通しをもって制作ができる。 | 作品 テスト ワークシート |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 自分の想いや構想を表現するために様々な技法や表現方法を用いることができる。 水墨画に興味を持ち、濃淡やにじみを表現するために何度も積極的に練習し、作品を制作している。 制作に集中して取り組むことができる。 作家や作品の良いところを見つけることができる。 | 作品 テスト ワークシート |